

『長磯小学校最後の読み聞かせの様子』

3月8日(金)長磯小学校で最後の読み聞かせをしました。3月で閉校するためです。ボランティアの荒谷さんが「関東大震災」の紙芝居を読んでもくれました。長磯小学校で読み聞かせを始めて3年、荒谷さんには、たくさんの本を読んでいただきました。最後に6年生が代表して荒谷さんに感謝の言葉を述べてくれました。生徒全員で玄関までお見送りもしてくれ、荒谷さんも嬉しそうでした。4月から大成中学校・久遠小学校にいても、元気で優しいみなさんでいてください！3年間真剣に聞いてくれ、とても楽しかったです。こちらこそ、ありがとうございました！
(最後の読み聞かせの様子です)



<平成25年大成図書館子ども読書週間>

- ◆期間:平成25年4月23日(火)～5月12日(日)
- ◆場所:大成図書館(10:00～17:00)
- ◆内容:平成24年に購入した雑誌の無料提供
:除籍した本の無料提供
※4月26日(金)～5月3日(金)まで!

『子どもの日のつどい』

- ◆期 日:4月28日(日)
午前10:30～
- ◆場 所:大成図書館児童室

絵本の読み聞かせや工作をします！
お友だちをさそって、参加して下さい！



【図書館からのお知らせ】

4月1日から、教育事務所が大成総合支所に移転するため
毎週月曜日が休館日になります！

※月曜日が祝祭日の場合は火曜日が休館日になります
ご不便をおかけしますが、ご協力お願いします！

〔 本のリクエストや読みたい本はありませんか？ 〕

図書施設では、新刊書を中心に定期的に図書の購入をしております。購入に際しては、新刊情報などをもとに町民のニーズに合うように心がけておりますが、全てに対応できてはいけません。町民のみなさんからのリクエストがありましたらお近くの施設にお申し出下さい。

※(リクエストに応えられない場合もありますのでご了承下さい)

<わたしのとびっきりの一冊>

図書館に勤務して8年目を迎えました。この間、多くの本との出会いがありましたが、とても感動した本、おもしろかった本などもたくさんありました。その一部をご紹介します、ぜひ皆さんにも手にとっていただきたい本をご紹介します。
(大成図書館 佐藤)

- ◆「アトロシティー」・前川 裕 著…続発する詐欺的な訪問販売に、それとの関連が疑われる押し込み強盗殺人の真相。生活保護も受けずに餓死したまだ若い母娘の謎。極悪な拉致監禁殺人を犯しながら、反省の色のない少年犯罪加害者の追跡。取材を続けていたジャーナリストは、いつしか、動機も手口も不明の奇怪な事件の渦中に巻き込まれていく—都会の間はまだ濃く、人間どもは生臭い。不気味な通奏低音が鳴り響く、傑作犯罪叙事詩。凄惨なるクライム・サスペンス。
- ◆「ぼくの兄ちゃん」・よしながこうたく 著…「おばけさん、こんな兄ちゃんなんか、つれていってください！」兄ちゃんはいつもイバってばかり。だからぼくはさげんでしまった…。プツツと笑えて心が温かくなる絵本です。

<4月の各施設の開館情報>

せたな町情報センター (北檜山区北檜山 266 番地 TEL 0137-84-5342)

◆開館時間：10時～19時 ※(4月から開館時間が変わります)

◆休館日：4月1日(月)・8日(月)・15日(月)・22日(月)・30日(火)
(年末年始及び図書整理日等の臨時休館日除く)

瀬棚図書センター (瀬棚区本町 728 TEL 0137-87-3901)

◆開館時間：10時～17時 (年末年始及び図書整理日等の臨時休館日除く)

◆休館日：4月1日(月)・8日(月)・15日(月)・22日(月)・30日(火)

大成図書館 (大成区都 386 番地 TEL 01398-4-6161)

◆開館時間：10時～17時 (年末年始及び図書整理日等の臨時休館日除く)

◆休館日：4月1日(月)・8日(月)・15日(月)・22日(月)・30日(火)

(土・日曜日及び祝祭日の正午から午後1時までは休憩時間)

今月のおすすめ本

大成図書館

- ◆『私の嫌いな探偵』 東川 篤哉 著 (一般書)
鵜飼杜夫探偵事務所は今日も大騒ぎ。ファン大満足の短篇集。東川篤哉の人気「烏賊川市シリーズ」。
- ◆『五二屋傳蔵』 山本 一力 著 (一般書)
舞台は、幕末の江戸深川にある質屋・伊勢屋。その蔵に収められた大金を狙って、盗賊が襲撃計画を実行に移そうとしていた……。
- ◆『アトロシティー』 前川 裕 著 (一般書)
発する詐欺的な訪問販売に、それとの関連が疑われる押し込み強盗殺人の真相。生活保護も受けずに餓死したまだ若い母娘の謎。極悪な拉致監禁殺人を犯しながら、反省の色のない少年犯罪被害者の追跡。取材を続けていたジャーナリストは、いつしか、動機も手口も不明の奇怪な事件の渦中に巻き込まれていく—都会の闇はいまだ濃く、人間どもは生臭い。不気味な通奏低音が鳴り響く、傑作犯罪叙事詩。凄惨なるクライム・サスペンス。
- ◆『闇医者おゑん秘録帖』 あさの あつこ 著 (一般書)
女の人生は一つではない。哀しい子を身ごもった女たちが闇医者をすがってやってくる。おゑんが診るのは、患者の身と心。しなやかな女の強さと美しさの物語。子を堕ろすため訪れた女たちの身と心を診る、闇医者のおゑん。もがき苦しむ彼女らが新しい人生を歩めるように—。
- ◆『桜ほうさら』 宮部 みゆき 著 (一般書)
父が賄賂を受け取ったと疑いをかけられて自刃。事件の真相究明のため江戸へ出てきた笙之介は……。ミステリアスで温かい青春時代小説。
- ◆『晩夏』 今野 敏 著 (一般書)
台風一過の東京湾で、漂流中のクルーザーから他殺体が発見された。東京湾臨海署・強行犯第一係の安積警部補らは、帰港した船に臨場し、何者かに絞殺された被疑者の身元確認を始める。一方、第二係の相楽たちは、前日に新木場で開かれたパーティーで発見された変死体の捜査をしていた。やがて変死体は、飲料に毒を盛られて殺害されたのが判明し、遺留品などの分析が始まった。だが、事件の重要参考人として、身柄を確保されたのは、安積の親友、交機隊の速水直樹警部補だった——。安積班に嵐が巻き起る！ 安積班シリーズの最新長篇、待望の刊行。
- ◆『夢を売る男』 百田 尚樹 著 (一般書)
敏腕編集者・牛河原勘治の働く丸栄社には、本の出版を夢見る人間が集まってくる。自らの輝かしい人生の記録を残したい団塊世代の男、ステイブ・ジョブズのような大物になりたいフリーター、ベストセラー作家になってママ友たちを見返してやりたい主婦…。牛河原が彼らに持ちかけるジョイント・プレス方式とは—。現代人のふくれあがった自意識といびつな欲望を鋭く切り取った問題作。
- ◆『また次の春へ』 重松 清 著 (一般書)
小学3年生、母を亡くした夜に父がつくってくれた“わが家”のトン汁を、避難所の炊き出しでつくった僕。東京でもどかしい思いを抱え、2ヵ月後に縁のあった被災地を訪れた主婦マチ子さん。あの日に同級生を喪った高校1年生の早苗さん……。厄災で断ち切られたもの。それでもまた巡り来るもの——。未曾有の被害をもたらした大震災を巡り、それぞれの位置から、再生への光と家族を描いた短篇集。
- ◆『お女ヤン 9巻』 岬 著 (一般書)
大好きな南校イケメンヤンキーズと、涙のサヨナラをしたトップ・オブ・おジョーサマのミホ。心機一転、街を離れ、秘書・斉藤さんに導かれ新しい屋敷へ。なのに、忙しい斉藤さんの放置プレイによって、ミホの退屈と妄想はピークに。暇を持って余りすぎて、悶絶していたある日。
- ◆『しずくちゃん 20巻』 ぎぼ りつこ 著 (児童書)
4月29日はしずくちゃんの誕生日。その直前、しずくちゃんの様子がいつもと違う。書き損じの手紙にはお別れの挨拶のような文章が書いてありました。楽しいお誕生日の物語。
- ◆『くふうの図鑑』 鎌田 和宏 著 (児童書)
- ◆『チュウチュウ通りのゆかいな仲間たち』 エミリー・ロッド 著 (児童書)
ハツカネズミのすむネコイラン町にはチュウチュウ通りというすてきな通りがあります。その1番地にすむのは、お宝チーズをいっぱいもってるお金もちネズミのゴインキョ。でも、ある夜…。

※発売日前・予約中のものもありますので、図書の有無については各施設にご確認下さい